

加茂市農業ビジョン

令和6年3月
加茂市農林課

加茂市農業ビジョン



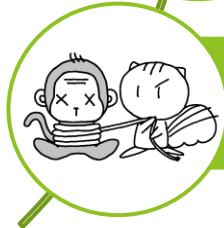
加茂市農業ビジョンの位置づけ



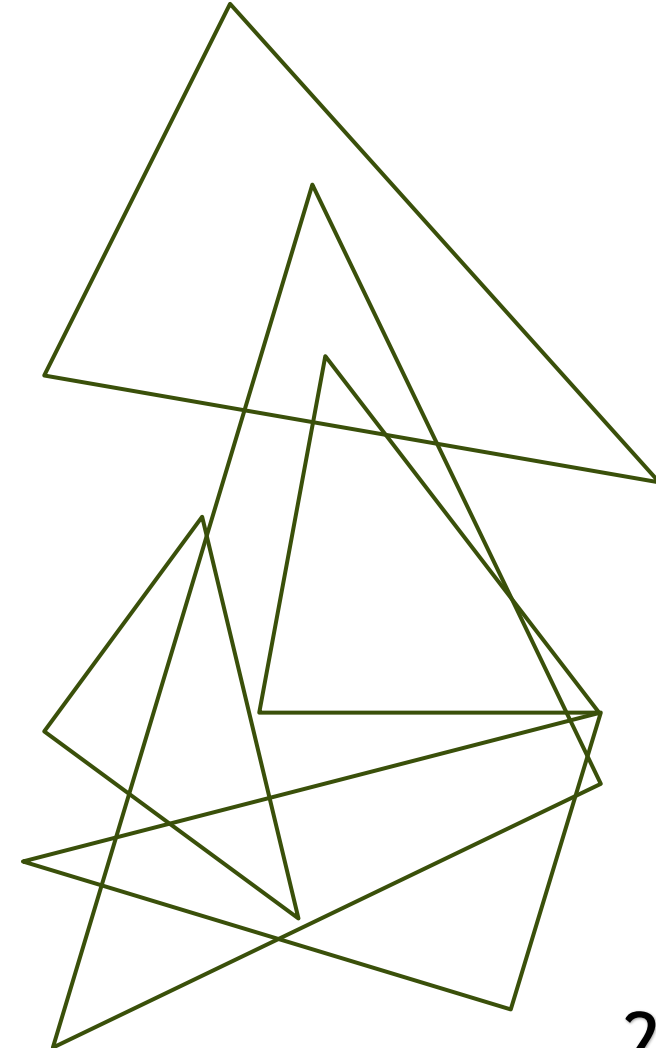
経営



生産・販売



環境



1 加茂市農業ビジョンの位置づけ

加茂市総合計画（2021）

基本構想（都市の魅力 創造・産業・雇用）

人が集い、賑わいと活力が
あふれ、稼ぐ力と雇用を生
み出すまち

基本方針

農林水産業が持続可能な産業
として確立するまち

施策の展開

- ・ 農業経営体の確保と育成
- ・ 農地や農村環境の保全

長期的計画

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想

農業が職業として成り立つよう将来の農業経営の目標を示す

加茂市農業振興地域整備計画

優良な農地を保全し、各種施策を計画的に実施するための総合的農業振興計画

農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画

農村が有する国土保全、水源かん養等多面的機能促進のための地域活動支援の計画

長期的計画

加茂市鳥獣被害防止計画

鳥獣被害防止のための施策を総合的、効果的に実施するための計画

加茂市人・農地プラン

将来、誰がどのように農地を使って農業を進めるか、地域の話し合いに基づく計画

↓ 移行

地域計画

将来、誰がどのように農地を使って農業を進めるか、地域の話し合いに基づき農地の利用を明確化した計画

等

↓ 補完

加茂市農業ビジョン

- ・ 課題整理
- ・ 解決の取組
- ・ 役割分担

経営

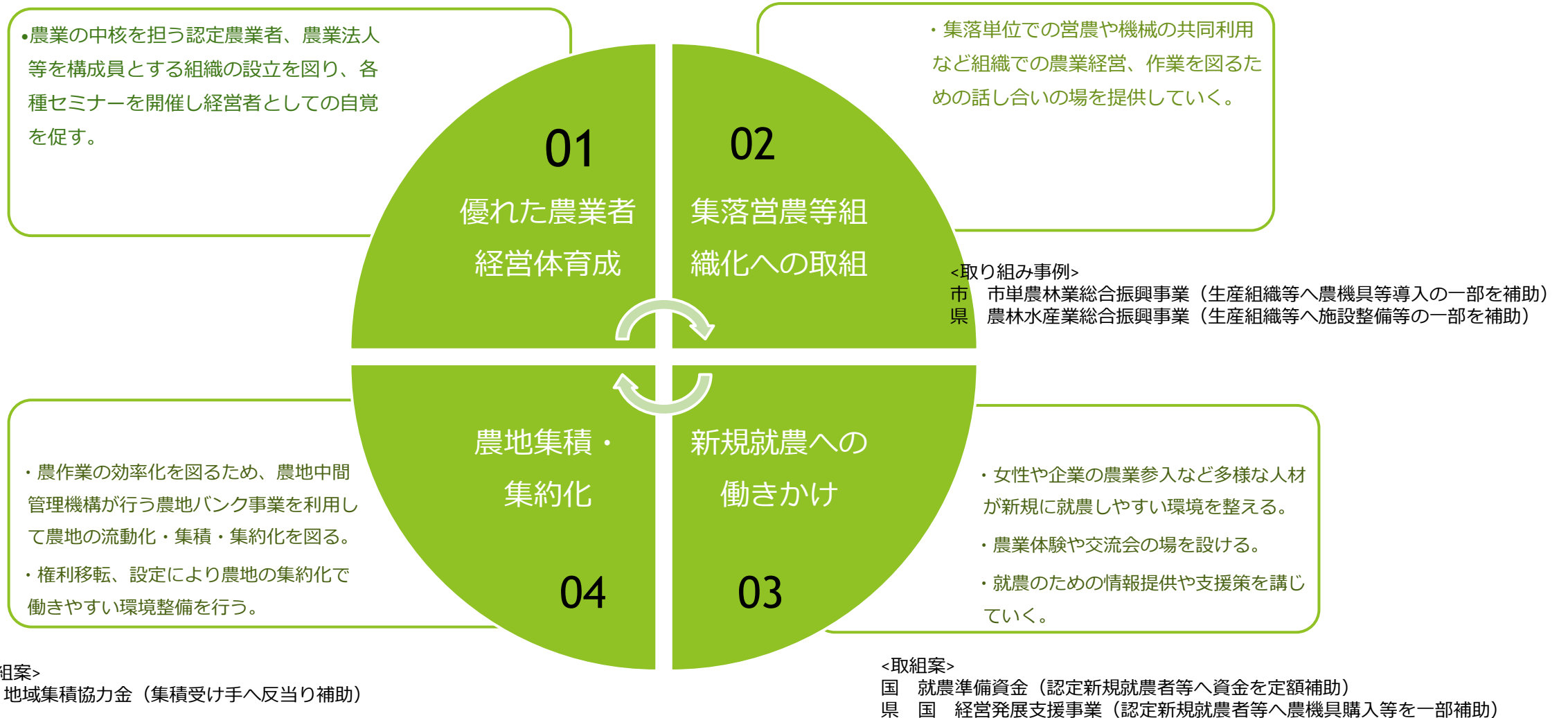
現状と課題

- 01 少子高齢化による担い手不足
- 02 人口減少による地域活力停滞

解決のための施策

- 01 優れた農業者、経営体の育成
- 02 集落営農等組織化への取組
- 03 新規就農への働きかけ
- 04 農地の集積・集約化

経営の解決施策



生産と販売

現状と課題

- 01 農業産出額の低迷
- 02 気象変化等による価格変動

解決のための施策

- 01 付加価値の創出
- 02 食品業界等への販路開拓
- 03 農業加工商品開発
- 04 地産地消
- 05 気候変動に対応する作物生産

生産と販売の解決施策

01

付加価値の創出

- ・ 有機栽培や減農薬栽培などの付加価値を創出しながら品質の向上を目指す。
- ・ 一般作物と差別化を図りながらブランド化を支援していく。
- ・ 加茂市農産物の認知度向上のため、SNSやメディアを活用した情報発信やPR活動を実施していく。

<取組事例>

市 県 国 環境保全型農業直接支払交付金事業（低減化学肥料・低減農薬等へ反当り交付金）

<取組案>

県 新潟園芸ブランド化推進事業（生産組織等へ品質向上の取組を一部補助）

02

食品業界等への 販路開拓

- ・ JAなどと協力し、首都圏の商業施設での展示即売や物産展などの交流会で消費者とのつながりを強化していく。
- ・ 多様化している消費者ニーズに対応するため、交付金等を活用した輸出米の栽培を支援し、アジア、アメリカ等海外市場への販路拡大を支援する。

<取組事例>

市 生産調整推進対策事業（加工米・輸出米生産へ反当で補助）

国 水田活用直接支払交付金事業（加工米・輸出米生産へ反当で補助）

生産と販売の解決施策

03

農産加工商品開発

- ・生産者、民間業者等の連携による商品開発や6次産業化、生産量確保のための経営規模拡大等に対し支援する。
- ・商品開発のための新規作物導入に対し、JA、普及センターなどと協力し栽培技術等を支援する。

<取組案>

県 新潟園芸ブランド化推進事業（生産組織等へ先進技術導入等を一部補助）

04

地産地消

- ・現在、JAが取り組んでいる学校給食への加茂産農産物の提供に今後も協力していく。
- ・学校給食の他、教育現場で農業体験などを行い、加茂産農産物の理解を深める。
- ・生産組合等が運営する、生産者の顔が見える安心・安全な農作物が購入できる直売所等へ協力していく。
- ・農村地域生活アドバイザー等と協力し、食を通じ加茂産農産物の消費拡大と市民の交流を検討していく。

生産と販売の解決施策

05

気候変動に対応
する作物生産

- ・地球温暖化等に対応した水稻品種などの安定生産や高品質化を、JA、普及センターと協力し支援する。
- ・農業者がこれまでに培ってきた栽培技術を次世代に継承できるよう、JA、普及センターと支援していく。

<取組案>

県 新潟園芸ブランド化推進事業（生産組織等へ新品種導入等を一部補助）

環境

現状と課題

- 01 遊休農地の増加
- 02 農業用施設の老朽化
及び維持管理の困難
- 03 有害鳥獣による農作物被害

解決のための施策

- 01 多面的機能を有する農地保全
- 02 環境保全型農業の推進
- 03 スマート農業の導入
- 04 有害鳥獣対策

環境の解決施策

01 多面的機能を有する農地保全

- ・ 集落営農や地域協働による農地、水路の保全を支援する。
- ・ 土地改良区、水利組合の長寿命化対策へ支援していく。
- ・ 農業者が安定して農地を確保できるよう、ほ場整備事業の実施による生産基盤の整備を実施し、良好な営農環境を確保する。
- ・ 農地管理しやすいように農地の集約化を図る。

<取組事例>

市 県 国 多面的機能支払交付金事業（地区で取組む農地保全活動へ交付金）

市 土地改良事業（水利組合等へ小規模土地改良事業の一部補助）

<取組案>

市 県 国 中山間地等直接支払制度

（集落等へ農地を維持管理し農業生産活動等に反当り交付金）

環境の解決施策

02 環境保全型農業の推進

- ・有機栽培、減農薬栽培などの食や環境にやさしい営農を支援していく。
- ・中山間地で将来、農地として保全が困難と認められる土地について、景観植物の植栽やビオトープの造成などで有休農地化を抑制する取組を支援していく。
- ・化学肥料や農薬に頼るのではなく、一般家庭や畜産業などから出る廃棄する物を肥料として活用し、資源を循環させ環境の負荷を軽減する循環型農業への取組を支援していく。

<取組事例>

市 県 国 環境保全型農業直接支払交付金事業
(化学肥料・化学合成農薬の使用を5割低減した上で行う自然環境の保全に資する取組へ反当り交付金)

環境の解決施策

03 スマート農業の導入

- ・ドローンなどAI、ICT等の技術を活用した農業機械の導入により、農作業の省力化や省エネルギー化を支援する。

<取組事例>

市 市単農林業総合振興事業（スマート農業用機械導入へ一部補助）

<取組案>

県 農林水産業総合振興事業（スマート農業技術・機械導入へ一部補助）

環境の解決施策

04 有害鳥獣対策

- ・有害鳥獣を駆除するハンター数が減少傾向にあり、年齢も高齢化していることからハンター数を確保し、後継者の育成が必要である。
- ・有害鳥獣駆除のための檻、罠の設置のほか、ITを活用した機器の利用により駆除作業の省力化を検討する。
- ・有害鳥獣から農作物被害を防ぐため、農地への電気柵設置の拡充を進める。
- ・遊休農地の発生の抑制と併せて里山整備による緩衝帯の創設による被害防除も検討する。
- ・JA、普及センターと協力し、有害鳥獣から被害を受けにくい、さといも、こんにゃく、そば等の新規作物の導入や栽培技術の導入を検討していく。

<取組事例>

国 新潟県鳥獣被害防止総合対策交付金事業（3戸以上共同の電気柵設置へ一部補助）

国 新潟県有害鳥獣捕獲の担い手緊急確保補助事業

（新規に一定要件を満たす銃猟免許取得者に取得経費の一部補助）

<取組案>

市 加茂市鳥獣被害防止対策事業（電気柵設置へ一部補助）

ありがとうございました

加茂市農林課